

体験設計プロトタイピング研究会

発足の経緯とメンバー募集

2020年1月10日
CXDSフォーラム

<本日のアジェンダ>

- + CXDSがプロトタイピング研究をおこなう**理由**
- + 発足の過程でプロトタイピングについて**考えたこと**
- + 体験設計プロトタイピング研究会の**メンバー募集**

CXDSがプロトタイピングに注目する理由

製品やサービス、あらゆる活動が**人や社会に寄り添っていく**ことを求められ、それらを「体験設計」によって実現していく(CXDSの活動主旨)

理念だけでなく、事業や業務の中で**実践する具体的な方法が必要**となる

体験設計の実践には**人の体験によって評価し、改良していく仕組みが必要**

そのために体験を評価できる**プロトタイピング**は重要なプロセスである

特にエクスペリエンスビジョンから発想された「**新しい製品・解決法・やり方**」
イノベーティブなアイデアの開発には不可欠なプロセスである

プロトタイピングの範囲・定義

大きい例 進化論(生物は全てプロトタイプ、環境に適応)

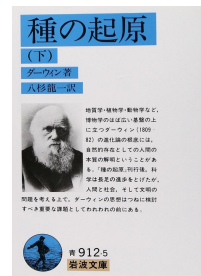
小さい例 機能試作(部分を評価)

何かを作って評価して改善していくこと

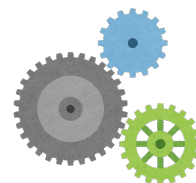
企てを実際のカタチにすること

大きく展開される前に小さくやってみること

……業界、立場によって様々な意味・目的で使われている



進化論



機能試作

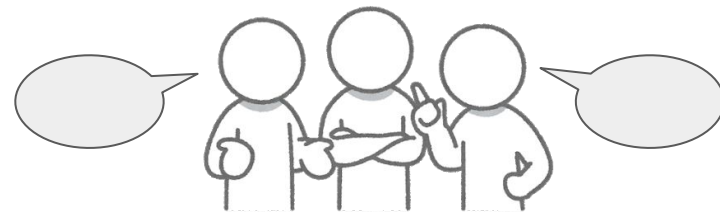
これでは、抽象的で広すぎる



「体験設計のためのプロトタイピング」とは
どんなものか一旦考えてみました

※研究成果ではありません。課題の投げ掛けです。

例えば、こんな意見が出ました



- **全ての人の体験**を良くする目的
- 人が体験することで**評価**する手法
- **機能価値と体験価値**を同時に評価したい
- 「早く・速く・安く・誰でも」おこない**上流工程**で体験したい
- 問題解決ではなくビジョンにもとづく**新しいアイデア**の実現
- **出荷後も続く**ユーザーと共創する開発プロセスも含まれる

全ての「人の体験」が対象

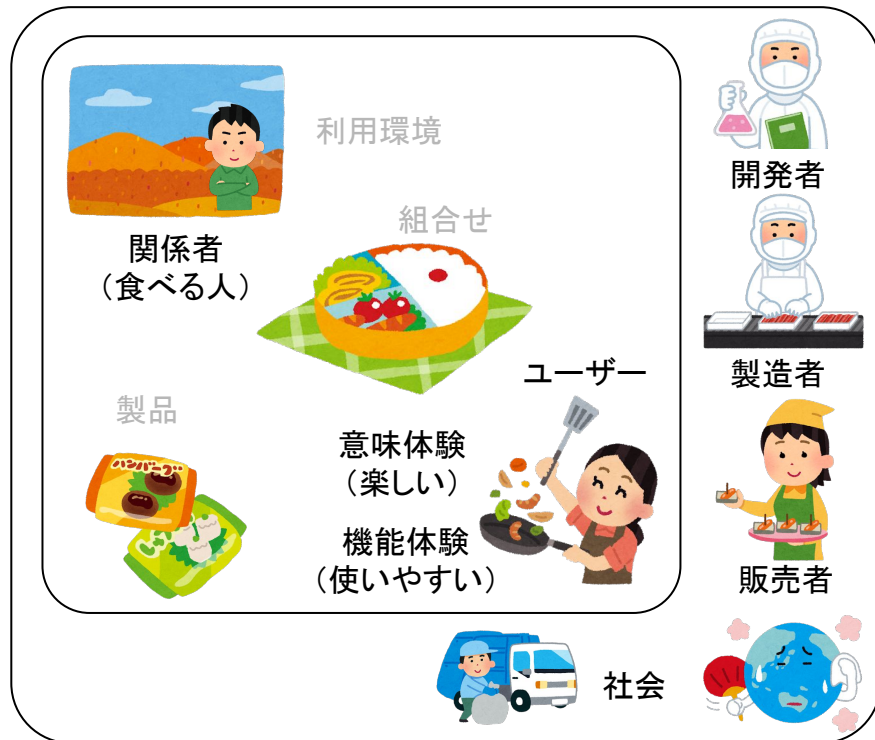
ユーザーだけでなく、製品に関わる人の体験を扱う

開発する人から

製品ゴミを処分する人

環境変化の影響を受ける人

...



体験評価に必要な要素

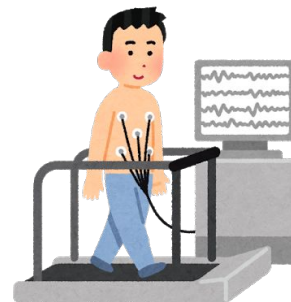
評価する**もの** (モノ・サービスのプロト実装)

体験する**条件** (体験環境、VR／AR)

体験**者** (利用動機、知識、身体)

データ**収集と評価** (センサー、ログ、評価法)

理想が揃わないときにどのように
「代替」していくのか →プロトタイピング技術

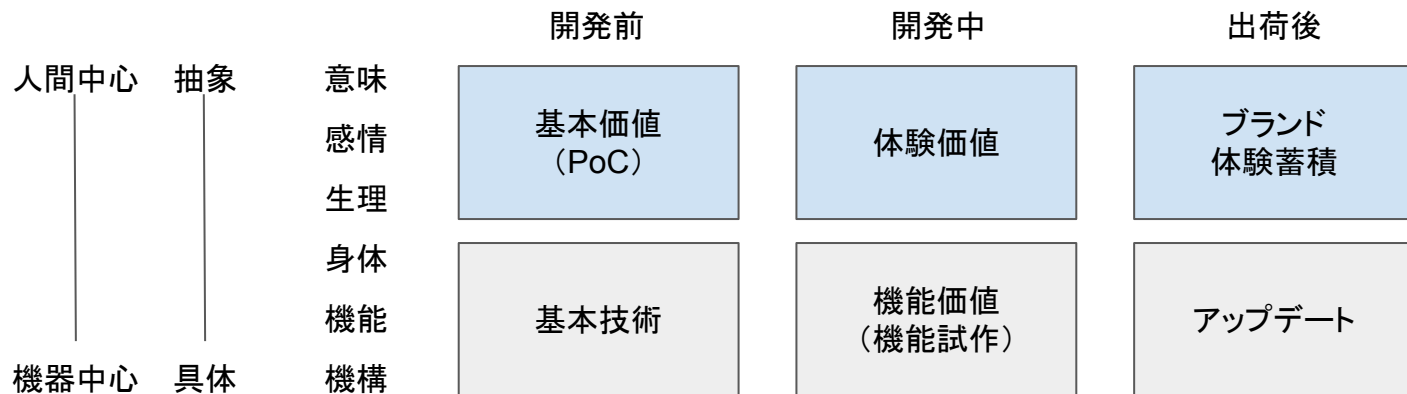


体験設計プロトタイピングのタイミング

機能試作で**体験価値**も一緒に評価したい

PoCで基本価値を**体験**によって評価したい

出荷後に**ユーザー評価**を入手してアップデートしたい

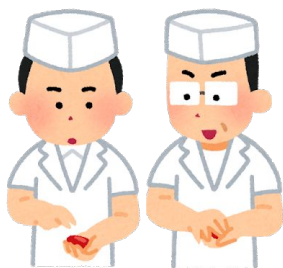


出荷後のフィードバックで共創

完全に人にフィットした製品のためには「共創」が欠かせない

出荷後にユーザーと一緒に共創で仕上げていく製品の拡大

フィードバックから改善する体験設計プロトタイピング的ビジネスモデル



これまでと違うプロトタイピングが必要そうだ



知識・技術の**学びと実践**のために
「体験設計プロトタイピング研究会」をやる



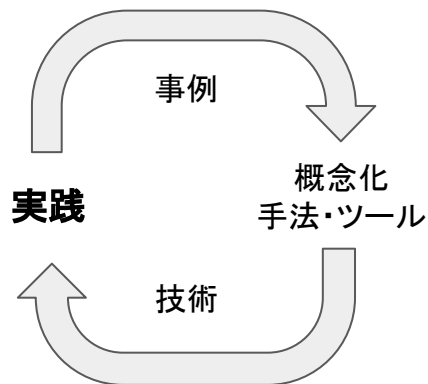
研究会活動について考えてみた

研究会の活動内容

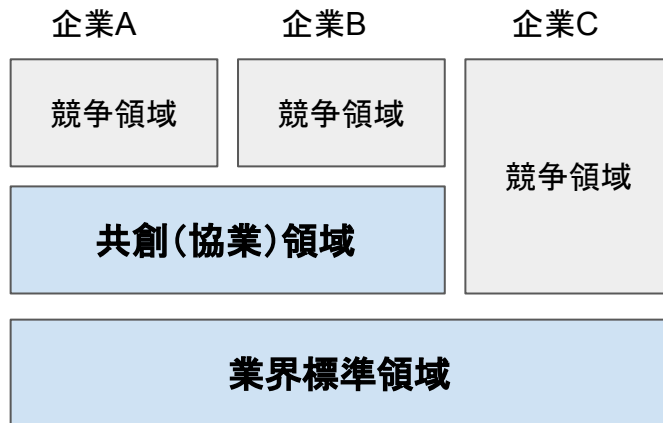
体験設計プロトタイピングによる**開発プロセス事例の収集**（成果はCXD認証へ）

「実践」に繋げていくための**手法・ツール・ノウハウの収集**

「共創」のベースとするための**共有・発信**（ワークショップ、フォーラム）



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry



活動することで期待できるメリット

- 既存の業務に**体験設計プロトタイピング**を導入できる
 - 従来のプロトタイプを**体験評価に適したものにできる**
-
- プロトタイピングを中心とした**ビジネスモデル／開発プロセス**に移行できる
 - 共通のプロセスをもった企業との**共創がスムーズ**に進められる

小さな業務改善からイノベーションまで



<< メンバー募集 >>

- 「体験設計プロトタイピング」を共に学び、実践したい人を募集します
- 多様な業種・職種を希望します(全ての人の活動領域が対象)
- 研究活動の立ち上げに参加できます(研究会のビジョンをデザイン)

- CXDS会員以外でもOKです
- 一緒に共創したい企業や人を招待してください

未来に向かって一緒に活動しましょう！



参加申し込み方法



A screenshot of the CXDS website's contact form. The header is teal with the CXDS logo and navigation links: HOME, 会員一覧, 運営組織, 定款・細則・NDA, 体験設計認証, FAC, and お問い合わせ (circled in red). The main content area is white with a teal header bar that says "CXDS お問い合わせ". Below this is a form with fields for "お名前 必須", "メールアドレス 必須", "貴社名", and "お問い合わせ内容 必須". The "お問い合わせ内容" field contains the text "体験プロト研究会__参加希望". There are buttons for "入力内容保存/読み込み" and "内容確認画面へ".

問い合わせフォームに「体験プロト研究会__参加希望」
と書き、CXDS事務局へ

1月末で一度申込者(メンバー)へ状況説明をおこない、
3月初旬にキックオフ(第0回)を開催する予定です

活動時間(当面)

毎月の定例会合 平日の 17:00~19:00

定例前にメーリングリストで、テーマの共有やアイデア出しなどをおこなう

その他

展示会などのアテンド

フォーラムへの参加

<本日のまとめ>

- ＋ 研究をおこなう理由 → 人に寄り添う
- ＋ 発足の過程で考えたこと → プロト技術の拡大
- ＋ 研究会のメンバー募集 → 多様な人の参加希望

お申し込みをお待ちしております。



一緒に学び、実践しましょう！

- デザイン思考のためのプロトタイピング
- デザイン経営のためのプロトタイピング
- プロジェクトマネジメントのためのプロトタイピング
- オープンイノベーションのためのプロトタイピング
- モデルベース開発のためのプロトタイピング
- PoCのためのプロトタイピング
- プロトタイピング的ビジネスモデル(リーンスター트업)
- アジャイル開発のためビジョンプロトタイピング

一緒に学び、実践しましょう！

- 半年早く、体験価値を評価する
- 10分の1の時間で、体験価値を評価する
- 10分の1の費用で、体験価値を評価する
- 繰返し、体験価値を評価する
- 試作を使って体験価値を評価する
- 外注しないで、体験価値を評価する
- 部分体験ではなく全体体験を評価する
- コミュニケーションのために、体験設計を共有する